

平成一〇年九月二十七日（日）

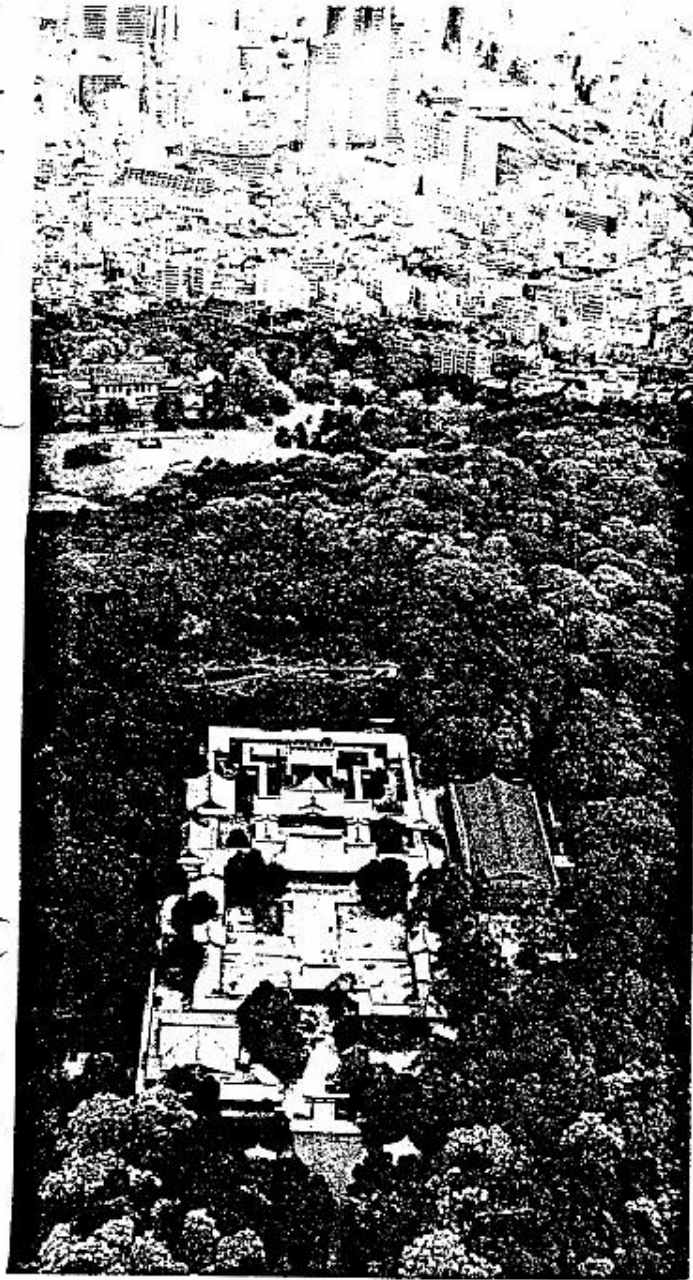
第二五七回史跡めぐり資料

・ ・ ・ 都心のオアシスに ・ ・ ・

遙かなる明治を

越谷市郷土研究会

第二五七回史跡めぐり案内



日時 平成一〇年九月二十七日(日)
集合 越谷駅前 午前九時〇〇分
行先 明治神宮とその界隈を散歩する
コース 越谷駅

越谷駅 〓 (東武線) 〓 北千住駅 〓 (千代田線) 〓 代々木公園(昼食) 〓 代々木公園駅
 NHK放送センター(スタジオパーク) 明治神宮(宝物館他)
 東郷神社 明治神宮前駅 〓 (千代田線) 〓 北千住駅 〓 (東武線) 〓
 越谷駅 〈解散〉

案内者 野村勝八
参加費 三,〇〇〇円 (交通費・資料代・その他)
昼食 各自必ず持参のこと。

★ はじめに



★ 原宿駅とその周辺



明治神宮・東郷神社が持つ、特殊な香りが、微妙な感覚となって資料作りを遅らせました。今回の史跡めぐりの場所変更をも考えたほどです。ハードルの高さに気がついたからでした。

私の本棚に一冊の本があります。司馬遼太郎の「明治という国家」です。この本は、NHKスペシャル番組司馬遼太郎のトーク・ドキュメント「太郎の國の物語」と題して平成元年（一九九〇年）から一月にかけて延六回にわたり放送されたものを、「明治という国家」という表題に変えて本にしたものであります。

放送を見た方もおいででしょうし、本をお読みになった方も大勢おられると思います。反響を呼んだ番組でしたから。

特殊な香りと、微妙な感覚は、この本の存在により慢ろされ安心しました。得た結論は（もちろん私なりですが）、思想とは関係のない、歴史そのものを知る。このことが支えとなりました。

「明治という国家」を読んではいなければ、この資料は出来なかったと思っています。振り返ってみると、明治ほどあぶない時代はなかったと思う一方、よくぞなし遂げたという思いが

あります。様々な出来事がありました。今の時代の原点として改めて認識すべきだと思いました。「遙かなる明治」と題したのはそんな悩みの中で選択した言葉です。

品川線が開通したのは明治一八年、遅れて明治三九年、代々木や恵比寿とともに、現在より五〇メートルほど代々木寄りの場所に開業した。

大正一三年に表参道にあたる現在の位置に移転、トンガリ帽子の尖塔のおしゃれな洋館風な駅舎は、天然スレートウロコ屋根、レンガタイル張りの白亜壁の英國調ハフティンバ方式といわれ、アメリカ材を使用して造られている。

大正一四年、新宿寄り四〇メートルほどに皇室専用乗降所宮廷ホームが出来、昭和四年には坂下口（現竹下口）が開設された。昭和一四年には初詣客が押し寄せる正月の四日間とメーデー五月一日の年五日間ほかに使用される神宮側臨時ホームができた。

原宿の街は、同側に榎並木のなだらかな表参道、明治神宮の杜を背景に日本で最初のヨーロッパ調の共同集合住宅「同潤会アパート」が昭和元年ころ建てられるなど、自然環境に恵まれた住宅街であった。

昭和三〇年代頃をうした雰囲気は憧れる若いファッション関係者等が周辺に住み始める。昭和四九年パレフランスが、昭和五三年ラホール原宿がオープンした。

原宿と呼ばれる新しい文化人が現れるのもこの頃である。竹下通りは駅への近道であったことから、色々なファッション店舗が軒を並べ、さらに有名なタレントの店が次々と出来るなど、独自のファッション情報基地として若者の人気を集め、今や修学旅行等で東京を訪れる学生等の定番の地となっている通りである。

★ 明治神宮 (社殿)



渋谷区代々木神園一—
大正九年一月一日(一九二〇年)創建の元宮幣大社。

明治天皇、昭憲皇太后を祀る神宮として創建されたものである。

この地は、家康が江戸に入ってまもなく、加藤清正に与えられ、清正亡きあと、桜田門外の

変一の井伊家へ下賜されたところである。
明治四五年七月三〇日に明治天皇が、大正三年四月一日には昭憲皇太后が崩御されたが

多くの国民の要望と寄付により「明治神宮」がこの地に建てられた。
創建当時の社殿を始め主要建物は、第二次大戦の空襲により焼失したが、昭和三年一月

現在の社殿に復興された。
社殿は流造(ながれづくり)の本殿を中心に祝詞殿(のりとでん)、内拜殿(ないはいでん)、

外拜殿(けはいでん)等の殿舎で構成されており、檜素木造が主体で、屋根は銅板葺である。
面積約二二万平米といわれ、鬱蒼と繁った緑したたる森に囲まれているが、この森は全国各地

から献木されたおおよそ三六五種、一二万本(現在一七万本余)の人工林が見事に育ったもの
である。

※ 明治天皇

明治天皇は、孝明天皇の第二皇子として嘉永五年一月三日(一八五二年)京都において生まれ、名を
睦仁(むつひと)。祐宮(さちのみや)と言う。生母は中山慶子である。

一六歳で即位、天皇の名により王政復古の号令を発布し明治元年「五ヶ条の誓文」を定めるとともに、
江戸を東京と改め遷都、明治維新の大業をなすとげる。

在位の間、憲法の制定・議院政治の開設・教育勅語の公布・法制の整備等近代国家への飛躍をとげる時代を
築いた。また台湾出兵・日清戦争・日露戦争・韓国併合など歴史的出来事を経て諸外国との交流を深めるな

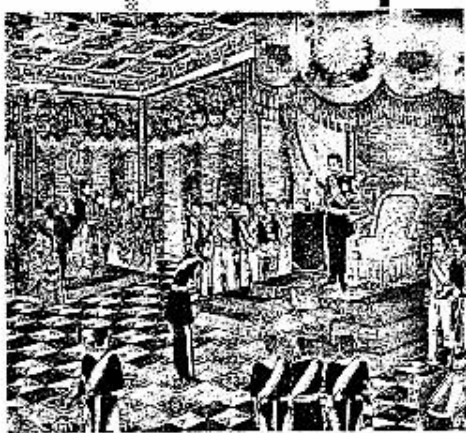
ど激動の時代を生きた天皇である。
(以上広辞苑より抜粋)

明治四五年七月三〇日六一歳で崩御、京都伏見の桃山陵に眠る。

※ 昭憲皇太后

嘉永三年(一八五〇年)左大臣一条忠香公の三女として京都で生まれる。
明治元年二月二八日皇后となる。名前は美子(はるこ)。

日本赤十字社の創立と経営に係わる等、社会福祉事業発展に深く寄与した。
大正三年四月一日崩御、天皇と共に京都伏見の桃山陵に眠る。



憲法発布式の図 壇上が憲法をさすける明治天皇。政府高官・外国の使臣・府県会議長らが出席した。

★ 宝物殿



大正一〇年一〇月(一九二一年)に竣工。神宮境内の北にあり、奈良の正倉院の校倉風の様式を模した和洋折衷の優美な建物。鉄筋コンクリート建物の初期の代表的建物といわれている。内部は、明治天皇、昭憲皇太后の在位四五年の生活振りをうかがい知ることが出来る様々なものが陳列されている。

なかでも正面に飾られている肖像画には、何かを感じられる方もいらっしゃるのでは。

★ 代々木公園



このあたりは、江戸時代には大名や旗本の下屋敷や抱屋敷が多くほとんどが武家地であった。明治四二年に陸軍の練兵場となり、戦後は米軍の家族宿舎(ワシントンハイツ)、ついで東京オリンピック選手村となり、昭和四五年都立公園として開園された。プールのある第一体育館とバスケット場がある第二体育館、東京オリンピックのために造られた「国立屋内総合競技場」がある。

この公園は、A・Bの二地区に分けられ、A地区は東京の樹木と池をしつらえB地区には陸上競技場とサッカー場、昭和六〇年に完成した野外音楽堂などがあり、児童公園、サイクリング施設等、森と緑とスポーツの広場として親しまれている公園である。

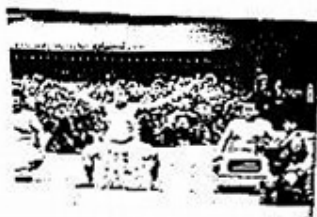
また、この森と明治神宮の社を含む一体は、野鳥の誘致林で野鳥にとっても楽園である。現在約五〇種の野鳥が確認されている。

※ 日本航空発始の地の碑

代々木公園B地区、代々木公園駅寄りには建っている。明治四三年一二月、代々木練兵場を埋めつくした数万人の群衆の見守る中で、日本で初めての飛行機が空を飛んだ。

高度七〇メートル、距離三〇〇〇メートル、帯空時間四分という公式記録が残っている。この時のハルマン機は交通博物館にて現存保管されている。

★ NHK放送センター



代々木公園の隣接地に立っているのが日本の放送文化の殿堂、NHK放送センター。大河ドラマを始め歴史的な放送も数多くあり、一人々の思いに違いがありつつも毎日の放送は、私達の生活の一部となっているのではないのでしょうか。

今も印象の強いもの、私の場合、東京オリンピックがそうでした。皆さんの場合はいかがですか。

★ 東郷神社



渋谷区神宮前一―五―三

ここは、元鳥取藩主池田侯爵邸があった所。

昭和十五年五月二八日に東郷平八郎を祀る神社として創建された。

財団法人東郷記念会の設立を経て、全て献金により建てられたものであるという。

昭和二〇年五月、空襲により社殿等は全焼したが、昭和三十九年五月再建された。

都心のオアシスに囲まれた静寂な雰囲気はさすがである。

境内に、東郷平八郎の生涯を描いたものが回廊に掲げられているのが珍しい。

また、境内では昭和五七年頃からノミの市が行われている。

主に旧家から集めた古道具などを中心に六〇軒ほどの店がならび、掘り出し物を

探しに外国人も多く訪れるという。毎月第一・第四日曜日に開催される。

丁度史跡めぐりの日は開催日にあたるので何かみつけてみてはいかがですか。

※ 東郷平八郎について (「明治という国家」より)

東郷平八郎は弘化四年(一八四七)薩摩藩鍛冶屋町という薩摩の城下としては場末のいわばサムライ団地に生まれた。八〇軒ばかりの区画のなかの一區画として東郷家があって、別の區画として大久保利通の大久保家があって、さらに大山巖の大山家があって、そしてまた西郷隆盛の西郷家があった。かれは西郷隆盛の弟さんに習字をならったして大きくなっていった。

そして戊辰戦争に参加してゆく。戊辰戦争の期間、重要な海戦にはつねに東郷がいた。戊辰戦争が終わると東郷は失職する。幸い新政府の海軍に横すべりし最下級の士官にありつくが、留学したいという意思は強かったようである。

うまく英国行きの話があって二六歳で英国の商船学校に入ったが、じっさいの年齢より十歳も若く登録していたという意外な事実があり、明治の人の心意気が伝わる。

七年間の厳しい訓練に耐え備国した東郷は海軍士官としてめざましい活躍してゆくのである。「日露戦争」を頂点としたその後の経歴については、周知のとおりでなので省略します。

明治政府は南下するロシアを極度に警戒していました。恐れていたといってもよいのです。東郷平八郎はそのロシアに対し、日本の防波堤とならんとした人であったと、司馬遼太郎は言うのである。

東郷平八郎は、波瀾の生涯を昭和九年に閉じる。この東郷が昭和の世にまで生きていたことを知ると不思議な気がしないでもない。

★ 明治維新ってなんだ

王政復古の号令発布後の一連の改革を、「明治維新」と呼んでいます。具体的には、次のような改革があげられる。

(1) 元号について

元号を慶応から明治に改めることとしたが、元号については、清国の例にならない、天皇一代の間は年号を変えない一世一代制を採用することとした。
この制は、現在もひきつづけられているのは周知のとおりです。

(2) 廃藩置県の断行

明治維新最大の改革であるといえます。
明治四年七月、政府が旧来の藩制を廃して全国に郡県制度をしき、中央集権的統一国家を目指す施策を発表。
(中央集権的統一国家とは、藩ごとによる経済と軍隊を国により一本化すること)
同年末には北海道のほか三府七十二県が置かれました。

「明治という国家」の中で廃藩置県のことをこう述べています。
少し長くなりますが引用してみます。

大変なものでした。日本に君臨していた二百七〇の大名たちが、一夜にして消滅したのです。士族(お侍さん)とその家族約百九〇万人が、深刻な影響を受けました。

明治維新は、士族による革命でした。多くの武士が死にました。この歴史劇を進行するために支払われた莫大な経費はすべて諸大名が自腹を切ったのです。勝利者も敗者も、ともに荒海にとびこむように

そのお返しに、領地とりあげ、武士は失業だったのです。勝利者も敗者も、ともに荒海にとびこむように平等に失職する。これが廃藩置県という革命でした。

山県有朋、木戸孝允、大久保利通等が推進者だと言ってよいでしょう。
廃藩置県とは、国民からの税金の徴収と、軍隊を作るのが最初の目的であったと思われれます。

それは、外国の脅威を時の指導者が認識していたからだろう想像すると、理解しやすいのです。
この廃藩置県の成功が、やがて「日清」、「日露」戦争の勝利に結びつくことになるのです。

(3) 「円」の誕生

明治新政府は、国際社会の仲間入りを考慮し、「円」を通貨単位とすると同時に金本体制をとることとしました。その為大阪に造幣局を設立させます。

現在の経済構造の基礎がこの時すでに出来上がったのです。
ただ、今日の経済混乱は明治政府の予想外であることは、間違いないようです。



木戸孝允





★ おわりに



断髮

(4) 文明開花

中央集権的統一国家を確立した明治政府は、いろいろな改革に取り組んでいます。いわゆる文明開花です。

断髮令発令

—— 脱刀令と並んで断髮令が発令されたのが明治四年八月でした。新たな戸籍法を制定することにより、従来の身分制度、士農工商制を廃し、腰の刀を抜きチョンマゲを切る。洋服姿の出現等西洋文明の導入が始まりました。

西洋文明の導入

—— 郵便制度開始、鉄道開通、国民皆学を目指し「学制」の公布、太陰暦から太陽暦へ切替え、通信線の架設等明治維新とは誠にあわたたしいものでした。

大教宣布の詔

—— いわゆる廃仏毀釈といわれるもの。明治政府唯一の失敗政策といわれる。「神社」から「仏教」の一掃を目指すのが、国民の良識が政策をうまわり、詔発令後わずか三年で廃止となった。

全くの独断と、偏見により資料を作成しました。

本日の「史跡めぐり」に参加された多くの会員の方の中に、不愉快な印象を与えたとすると、それは私個人の責に帰すべきものではありません。

歴史とりわけ明治を扱う場合のむづかしさ、それは現在も厳然として明治がいたるところで生きているからなのでしょう。

明治は「遙なるもの」でなくすぐ側にあることに、あらためて感動しました。司馬遼太郎は、後に「昭和という国家」という本を出します。

明治への思いが深く伝わるこれもまた名書であります。